

# 抗 議 文

在本邦アメリカ合衆国大使館  
特命全権大使  
ジョン・V・ルース 閣下

この度、貴国が9月15日にネバダ州の地下核実験場において臨界前核実験を行ったとの報道に接し、非核平和宣言自治体として、強い憤りを覚え、強く抗議いたします。

2006年8月に続き臨界前核実験を行った貴国に対し、我々は核兵器拡散、無限の核軍拡競争を引き起こす行為であると抗議してきました。そして現在、イランや北朝鮮の核兵器開発問題など、核兵器廃絶のための努力が水泡に帰そうとしています。

このような危機的状況の中で、世界で最も多く核兵器を保有する貴国が臨界前核実験を強行することは、長い年月をかけて積み重ねてきた核兵器廃絶のための努力を無に帰し、無限の核軍拡競争を引き起こしてしまうことを危惧せざるを得ません。

貴国が我々の声に真摯に耳を傾け、包括的核実験禁止条約(CTBT)を速やかに批准するとともに、核兵器廃絶への道筋を世界に示し、恒久平和の実現に向けて主導的な役割を果たすことを念願してやみません。

ここに、茨木市民を代表して貴国の未臨界核実験に強く抗議するとともに、今後もこのような実験を実施することがないように強く要請しますので、本国へ伝達されるようお願いいたします。

2010年10月13日

大阪府茨木市長 野 村 宣 一